

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010040

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	成人保健の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	がん予防対策事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	14	国保病院	
事業指標	がん検診受診率			#N/A		
事業目標	15%		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	有	がん予防・がん検診受診等に対する生活習慣改善の取組	関係例規・法令名	有	健康増進法、がん対策基本法	
			関係個別計画名	無		

		全 体 計 画	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	がん検診の実施、禁煙・食生活の工夫などがん 予防に係る知識の普及などによりがんによる健康 障害の発生、壮年期のがん死亡を減少する。	・胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮 がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の 普及 ・がん検診推進事業の実施 (特定年齢の方を対象として、乳 子宮・大腸がん検診にかかる 検診手帳・無料クーポン券 の配布)	・胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮 がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の 普及 ・がん検診推進事業の実施 (特定年齢の方を対象として 乳・子宮・大腸がん検診 にかかる検診手帳・無料クーポン券 の配布)	・胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮 がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の 普及 ・がん検診推進事業の実施 (特定年齢の方を対象として 乳・子宮・大腸がん検診 にかかる検診手帳・無料クーポン 券の配布)	・胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮 がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の 普及 ・ミニドック検診事業の実施 (特定健診等生活習慣病予防 健診と各種がん検診の同時 実施)	・胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮 がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の 普及 ・ミニドック検診事業の実施 (特定健診等生活習慣病予防 健診と各種がん検診の同時 実施)	・胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮 がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の 普及 ・ミニドック検診事業の実施 (特定健診等生活習慣病予防 健診と各種がん検診の同時 実施)
	事業費(千円)	18,182	3,582	3,755	3,645	3,600	3,600
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	727	524	103	100		
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	4,130	690	845	845	875	875
一般財源	13,325	2,368	2,807	2,700	2,725	2,725	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,174	3,095	3,079	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	625	343	282			
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	1,438	623	815				
一般財源	4,111	2,129	1,982				
関 連 事 項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) ・胃、肺、大腸、前立腺がん検診 受診者数 延732名 ・乳、子宮がん検診 受診者数 延161名 ・平均受診率 9.4% ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・胃、肺、大腸、前立腺がん検診 受診者数 延730名 ・乳、子宮がん検診 受診者数 延180名 ・平均受診率 9.1% ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	・がん検診推進事業補助金 ・がん検診受診者個人負担金 ・後期高齢者医療広域連合 すこやか推進事業補助金						
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	10%	11%	12%	13%	15%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	86%	82%	0%	0%	0%
		全体達成率	17%	34%	34%	34%	34%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	がん予防対策事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	保健係	河原真由美

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	がん検診受診率の向上
【抱える課題やニーズは】	がんは死因の第1位を占めており、特に壮年層における健康課題、生活への影響が大きい疾病である	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	がんの予防及び早期発見により健康課題の重度化、生活への影響を軽減することができる	① がん検診受診率	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果=目的	町民のがんによる健康課題と生活への影響が軽減される		目標値 10 %
			実績値 9.1 %
		② がん検診受診率(前年対比)	達成度 91.0 %
			目標年度 平成26年度
			目標値 9.4
			実績値 9.1
			達成度 96.8 %
【内容(どのような手段で何を 行ったか)】	各種がん検診の実施	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を集団及び個別健診で実施した。	
	がん検診推進事業の実施	乳・子宮がん・大腸がん検診受診者の増加を目指して特定の年齢の方に無料クーポン券と啓蒙普及に資する冊子を送付した。	
	がんの予防、検診等に関する広報	各種健康診査やがん検診の受診者への保健指導や町ホームページ等を利用してがん検診及びがん予防に関する情報提供を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	前立腺がん検診以外は健康増進法により実施が義務付けられている。がん検診は対象年齢にある全ての町民が対象であり、多くの職域健診ではがん検診の受診機会が少ない現状であるため、今後の事業も必要性が高い。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	大腸がんや乳・子宮がん検診対象者の特定年齢に対し、無料クーポンを配布し特定健診等集団検診との同時実施や個別検診でがん検診の機会を確保した結果、目標はほぼ達成された。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	特定健診等との同時実施により事業費や作業の軽減につとめ、効率的に実施することができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	検診受診者は受益者負担がある。広報や町ホームページ等により町民に広く検診実施を周知し、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
無料クーポンの配布や検診機会の確保を図っており、受診者数は全体的に増加傾向にある。対象者も増加しており、目標達成にむけた取組が必要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も受診率向上やがん予防にかかる意識、知識の普及とともにがん発症予防に関する取り組みを進めることも必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止